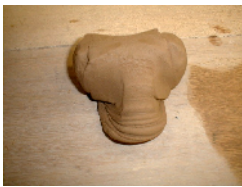


湯呑みを作る

土を練る

はじめに土を練ります。土練りには、「菊練り」と「荒練り」がありますが、最初は荒練りから始めます。

土練りは、①土の中の空気を抜く ②丁度良い柔らかさに整えるという2つの目的があります。空気が入らないように練りましょう。



土の両側を、手で包むように持ち、ゆっくりと(あまり力を入れずに)前に押し出します。
(これを繰り返すと、図のように象の鼻のようなものができます。ここから空気が抜けます)

15回ぐらい繰り返したら、方向を変え、同じように練ります。15×5回ぐらいやりましょう。

①



1キロの土を半分(500グラム)に分け、さらに大体3等分します。ひとつは土台に、2つはひもになります。土台は「玉づくり」と言われるやりかたで、あとは高さをひもを積んで出していきます。

②



ひもは、握ってだいたいひもにしてしまいましょう。太さは2～3センチ。手を少し広げて、力をかけないでゆったりと1回転以上するように転がしましょう。2本作ります。

③



残った固まりを球にして、ろくろの中央に置き、上から叩いて平らにします。ろくろ大なら1.5周、中なら2周まで広げ、真ん中から土を外に押しだし、土手を作ります。

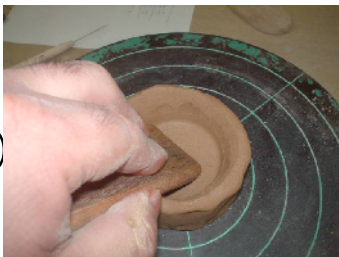
④



底は1センチ。針を突き刺して、厚さを確認しましょう。

厚さが大丈夫ならば、きちんと円になっているか、広がっていないか、確認して直しましょう。

⑤



コテの平らな部分を使って、底を仕上げ、土を締めます。コテの平らな部分が中心をはずれないように、水平を保つように！

⑥



ひもを1本、土手に乗せて、内側から上から下に少し土をおろし、継ぎ目を消します。内側の次は外側も。継ぎ目が消えたら、人差し指と親指で土をはさみ、土を寄せて、厚さを7ミリ程度にそろえながら、余ったを上へ送っていきます。

⑦



※ここがポイント！これがうまくできれば、なんでも作れる！ちょっと難しい。大体まっすぐになるように！きちんと寄せよう！

⑧



外側に手をあてて、コテの丸い方で下から上になで上げ、でこぼこをとります。内側が終われば、次は外側。コテを横にして、同様に下から上にして凸凹をとってしまいます。

⑨



内側、外側に残ったコテ跡をスポンジで消して、ぶれをとります。ろくろを回してからスポンジを内側の底からゆっくりと少しふくますように！。外側からは、絞るように！

⑩



もう1本、ひもをのせ、⑥からと同じことを繰り返して高さを出します。まっすぐになったら、針で口を水平に切ります。

⑪



口になめし皮をかけ、なめらかにし、飲みやすくします。その後、好んでコテで内側からふくませます。